

聖書の学び場

<『出エジプト記』について>

林明基牧師

創世記は、ヤコブとその家族がエジプトに下り、ゴシェン地方に定着した後、ヤコブとヨセフが死んだと伝えて終わっています。紀元前18世紀末頃のお話になります。エジプトでのイスラエル民族の生活はヨセフの活躍もあり、約100年は安泰でした。しかし、ヨセフのことを知らない世代になると、増え続けるイスラエル民族に対して抑圧政策を取り始めました。それから約200年が経つと抹殺政策に変わりました。出エジプト記は紀元前15世紀初め頃のお話になります。すなわち、創世記から出エジプト記までの間には約350年という時間の差があります。

エジプトによる抑圧政策と抹殺政策は残酷なものでした。しかし、モーセを助けた助産婦やモーセの母ヨケベドのように神さまを畏れる人々によって神さまの救いの御業は進められていました。そして、神さまはモーセを通してアブラハムとの約束を実現されるのでした。イスラエル民族がエジプトに滞在したのは430年です(出エジプト記12:40-41)。

出エジプト記は、神の民イスラエルにとって最も大切な二つの歴史を記録しています。一つは、エジプトから導き出された時に起きた、過越の出来事。もう一つは、シナイ山における神との契約の締結です。出エジプト記が私たちクリスチャンにとって特別であるのは、主イエス・キリストが過越の小羊となられ、私たちを贖ってくださったことと、キリストによって私たちがその契約の民とされたことを教えていることです。

★ 李卿濤

花が咲き鳥たちのさえずりが聞こえる美しい季節になりました。

私が住んでいる所は早咲きの桜が有名なので、3月になると河津桜を見物しに、遠い所からたくさんの人々が訪れます。その光景を見ていると、いつも願う事があります。森羅万象をこれほどにも素晴らしく創ってくださった神様を信じる者たちが、そして教会で礼拝を献げる人々が、溢れますことを……

今私ができる事は、世界の平和のため、日本の地と人々のため、私の祖国、韓国のため、この瞬間にも病と闘っている方、苦痛の中にいる方たちのため、神様にこの愚かな者が切に祈りたいと思います。96年前に信仰の先輩方たちの涙と祈りで建てられた京都教会が、子々孫々天の父なる神様に栄光を献げられる事を願います。

いつも早朝礼拝と祈りを共にして下さる兄弟姉妹たちに、感謝して居ります。

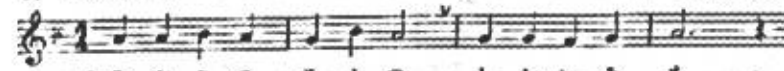


★ 朴康子  
幼い頃、教会学校で歌っていた懐かしい讃美歌『救いの聖歌集』。今は絶版で国会図書館に所蔵されています。ある時、教会学校の本棚で古い聖書辞典の間に挟まっているのを見つけました。目を見張って喜びました。

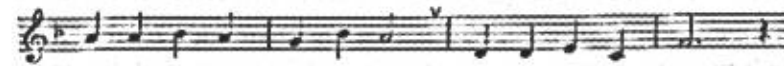
受難週の折、教会学校でこの聖歌集の中の「じゅうじか」を歌うことになりました。それから、ある時、祈りの中で、イエス様が十字架を背負われるこの絵と讃美が思い起こされました。そして、「この十字架に私の罪、悲しみや痛みを背負われた」と深く感じました。この讃美歌のイエス様のお姿を思う時、いつも私の立ち帰る原点があると、感謝に溢れます。子どもの頃に歌っていた讃美歌を通して、素晴らしい恵みを与えて下さった神様に感謝します。

2 じゅうじか THE CROSS (ルカ 23:26-46)

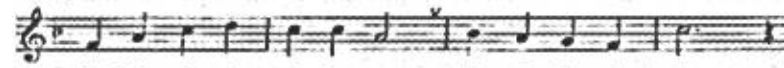
作詞 MITSUZO GOTO 作曲 MITSUZO GOTO



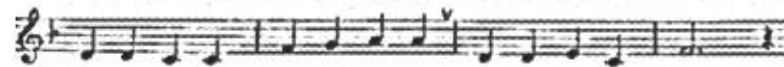
1. みやこのそとのとおいみち  
2. じゅうじかのうえのかくるしみ  
3. じゅうじかのうえでイエスさまは



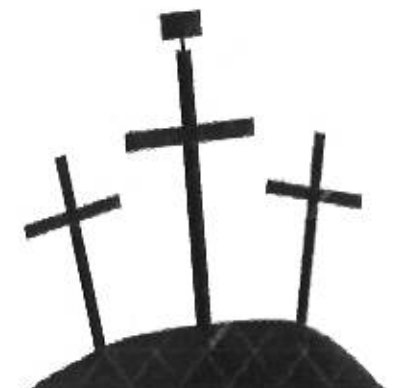
カルバリーおかにイエスさまは  
わたくしたちのつみととが  
みんなのためにいのちをくれた



じゅうじかをせかいゆかれます  
そのおんかたにかかっている  
イエスさまどうぞつみふかい



イエスさまほんとにおもいでし  
イエスさまほんとにすみません  
わたしをゆるしてくださいな



ぼくは教会でそだちました。

ぼくの目標は長老になることです。

なぜなら神様から選ばれたからかっこいいと思います。

なのでこれからもしっかり聖書勉強をしたいです。

ちなみにぼくが一番好きな聖書はコリント信徒への手紙Ⅱ 5章 17節です。

その理由はぼくの誕生日は5月17日ですので(笑)

そんなぼくですが、ぼくには父が3人います。

だれかというとな本当の父(爺びょう)、もう一人は神様、三人目は教会の父である牧師さんです。

これからぼくが書いたこれらのことを心にしまっておきたいと思っています。

「だれでもキリストにあるならば、その人は新しく造られた者である。古いものは過ぎ去った、見よ、すべてが新しくなったのである。」  
(コリントの信徒への手紙Ⅱ 5:17)

ぼくは教会でそだちました。  
ぼくの目標は長老になることです。  
なぜなら神様から選ばれたからかっこいいと思います。  
なのでこれからもしっかり聖書勉強をしたいです。  
ちなみにぼくが一番好きな聖書はコリント信徒への手紙Ⅱ 5章 17節です。その理由はぼくの誕生日は5月17日ですので(笑)  
そんなぼくですが、ぼくには父が3人います。  
だれかというとな本当の父(爺びょう)、もう一人は神様、三人目は教会の父である牧師さんです。  
これからぼくが書いたこれらのことを心にしまっておきたいと思っています。



CS  
三年生(俞真)

★ 「あなたはわたしのもの。わたしはあなたの名を呼ぶ」

高栄玉

はじめ日本での生活を選んだ時には、全然知らないところ、知り合う人もない国の生活を なぜ と思  
いながら、不安で恐ろしい気持ちで一日一日生活に臨みました。いいえ、日本の生活だけではなく、ま  
だ若いですが今に至るまで、わたしの人生は不安で恐ろしい気持ちの連続でした。

その時の気持ちって未だに忘れないです。人生の中でいずれか選ばないといけない瞬間はあると思  
いますが、私にとってはいずれか選ばないといけない瞬間が多くて、とっても辛く感じるのです。その時  
にいつも思いだされる御言葉はイザヤ書 43:1~3、「恐れるな、わたしはあなたを贖う。あなたはわ

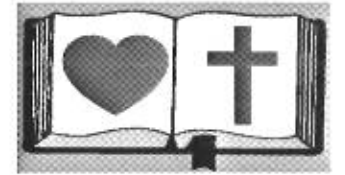
たしのもの。わたしはあなたの名を呼ぶ。水の中を通るときも、わたしはあなたと共にいる。大河の中  
を走っても、あなたは押し流されない。火の中を歩いて、焼かれず 炎はあなたに燃えつかない。わ  
たしは主、あなたの神」という御言葉です。もう一つの御言葉は創世記 12:1~3「あなたは生まれ故  
郷 父の家を離れて わたしが示す地に行きなさい。わたしはあなたを大いなる国民にし あなたを祝  
福し、あなたの名を高める 祝福の源となるように。あなたを祝福する人をわたしは祝福し あなたを  
呪う者をわたしは呪う。地上の氏族はすべて あなたによって祝福に入る。」という御言葉です。

わたしは神様に会ったことも見たこともないですが、聖書の御言葉を通して、神様に会うことができ、  
神様を見ることが出来ます。天地創造の神様がわたしの父って、考えるほど驚くべきことです。昔々、  
アブラムに言われた御言葉が今のわたしに与えられる。イザヤ先知者を通してくださった御言葉も今の  
わたしに与えられる。

聖書の御言葉は人によってそれぞれ与えられる恵みは違うけれど、確かなことは生命力があり、生き  
て動く力です。

道に迷い、辛い時も苦しい時も聖書の御言葉は、わたしを導いて今に至るのです。わたしを愛し、救  
い、導いてくださる主、イエスキリストを信じます。

ハレルヤ!



♡♡ 「主を畏れることは知恵の初め 聖なる方を知ることは分別の初め」  
(箴言 9:10)

♡♡ 次回の女性会聖書勉強会は2022年6月7日(火) 10:30~12:00です。

・担当: 高大韓伝道師      ・聖書: 出エジプト 20:1-21

(教会の行事のため原則12月、1月、8月はお休みとなります。)

※ 2022年教育部だよりは5月、8月、11月 計3回の発行を予定しています。

▶ 教会あて TEL(075-311-5051)/ FAX(075-313-3778)、郵送など。

※ メール(mison3252@gmail.com)

教育部・林美善まで。